



平成二十八年八月七日  
皇紀2676年  
(西暦2016年)  
第129号

発行：淀姫神社社務所  
〒859-4501  
松浦市志佐町浦免632  
TEL・FAX 0956-72-0653

毎日毎日暑いですね

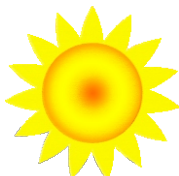
## 暦の上では秋になりましたが

これを書いてるのは八月六日です。この号が皆様のお手元に届く頃には、暦の上では「立秋」を迎え、季節は秋とされます。しかし、そんなこととは関係なく、気象台による梅雨明けの発表後、毎日毎日いやになるほど暑い日が続いております。皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

さて、こうも暑い日が続くと、やはり熱中症などが気になります。屋外での活動はもとより、室内でも熱中症の危険があります。エアコンなどの冷房器具を使って、なるべくこまめに水分補給などを行い、予防に心がけましょう。

また、夜間も気温25℃以上の熱帯夜を記録する日が多くなっています。「夜間熱中症」という言葉もありますように、こちらも気をつけなければなりません。

まだまだ暑い日は続きそうですので、体調管理には気をつけて、この夏を乗り切りましょう。



## 季節の言葉あれこれ

今回も、「季節の言葉あれこれ」ということで、いくつかこの季節にちなんだ言葉をご紹介します。

### 【蒙霧升降】（ふかきりまとう）

### 【濃霧昇降す】

七十二候「立秋」の末候。七十二候の第39号になります。今年は8月17日から、次の二十四節気である「処暑」の前日までが、この候にあたります。

一年を二十四の期間に区切って、その季節を表す二十四節気を、さらに三つに分けてより細かく表現した「七十二候」があります。この候もその中の一つです。

言葉の意味は、「森や水辺に、白く深い霧が立ちこめる頃」。

この時期になると、朝晩の気温差が大きくなり、地表付近に冷たい空気がたまり始めます。

風が弱い日に夜間晴れていて、地表の熱が宇宙へと放射される「放射冷却現象」が起こると、空気中に含まれている水蒸気が冷やさ

れて、霧が発生しやすくなります。このような気象現象が起こり始める頃、という意味ですね。

発生条件は、夜間晴れていて風が弱いこと（強いと流されます）と、地表付近が冷えていること。そして空気中に水蒸気がたくさん含まれていること。

この条件が整えば、霧は発生しやすくなります。

が、しかし。このところの夏は猛暑傾向にあるので、この時期に霧が発生しやすい条件が整いませぬ。

なので、少々この言葉も季節感とずれ始めているようにも思います。

霧が発生する頃には、だいぶ涼しくなっていると思います。

ですが、気象台の長期予報を見てみると、全国的に高温傾向と予想されているので、まだまだ先のことになりそうですね。

すでに夏バテ真っ盛りなので、早く涼しくなってくれないかなあと思っています。今日この頃なのであります。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。